

《12月中旬発売予定!!》


多くの証拠や文献、そして現場での調査、資料分析等から、我々は、次のように結論せざるを得なかった。

- 「小沢一郎検察審査会は、開かれていなかったのではないか」
- 「検察審査会メンバーは、本当は存在しないのではないか」
- 「小沢一郎強制起訴は、「架空議決」だったのではないか」

志岐武彦  
山崎行太郎

# 最高裁の罠

the Trap for Ozawa



定価1,500円+税(四六判/上製本)

## 「検察の罠」から「最高裁の罠」へ。

「小沢事件」及び「小沢裁判」は、日本国家の多くの謎や暗部、そして闇の部分、次々と暴露してきた。東京地検特捜部の暗部、検察の暗部、検察審査会の暗部、マスコミの暗部、米国の植民地支配の暗部、などなど。日本国家の闇の部分の「悪」と「犯罪」と「病巣」が、次々と暴露されていった。

本書が取り上げるのは、「検察の罠」の先にある「最高裁」である。

最高裁の実質的な司令塔の役割を担っている「最高裁事務総局」という組織にかかわるスキャンダルである。「守秘義務」や「非公開の原則」等々によって秘密のヴェールに包まれたままの検察審査会や最高裁の深い「闇」。その「恐」のない、黒く、ぶ厚い石の壁に挑んだ記録が、本書である。

### ご注文注文書

志岐武彦・山崎行太郎 共著

**「最高裁の罠」**

定価1500円+税(四六判/上製本)  
ISBN 978-4-906674-48-0

●申込冊数

冊

●お名前(ふりがな)

●お電話番号

●ご住所

●「アマゾン」から、インターネットで予約注文することができます。●

※弊社に直接ご注文される方は、上記空欄にご記入いただき、この用紙をそのまま FAX(03-5211-0097)してください。送料無料でお届けいたします。

K&Kプレス TEL.03-5211-0096 FAX.03-5211-0097

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-3半蔵門堀切ビル4階 Email;gekkan.nippon@gmail.com